

～テーマは「カッコカワイイ」～
全日本美容技術選手権大会で入賞 11/25(月)



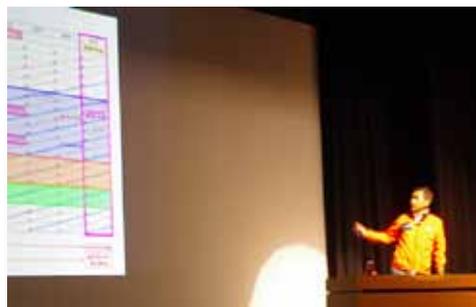
土居町の合田麻弥さんが市長を表敬訪問しました。合田さんは、10月22日、神奈川県横浜アリーナで行われた第41回全日本美容技術選手権大会の洋装ブライダル競技の部に出場しました。作品のイメージは「カッコカワイイ」で、モデルに合わせてヘアやメイクを考え、見事準優勝に輝きました。

～販売の手法を学ぶ～
ビジネスセミナー 11/9(土)



四国中央市ビジネスセミナーが川之江文化センターで開催されました。内容は「思わず手に取らせるパッケージデザイン」と題し、パッケージの役割や目的について消費者視点で考える参加型の講義が行われ、演習では実際の商品を分析し、販売方法や付加価値を高める改善策について話し合いました。

～夢と出会いが力に～
佐々木則夫講演会 11/26(火)



市民会館川之江会館で四国中央ふれあい大学「佐々木則夫講演会」がありました。佐々木さんはなでしこジャパンを率い、FIFA2011サッカー女子ワールドカップで世界一の栄冠を勝ち取ったプロサッカー指導者です。講演では、世界一に輝いた時の感動と指導者としての心得を約300人の観客に熱く語りかけました。

～地元の特産品がいっぱい～
産業祭とグリーンフェスタ 11/16・17



伊予三島運動公園体育館とJAうまジャジャうま広場で、産業祭とJAうまグリーンフェスタが開催されました。天候にも恵まれ、会場では、農作物展示、地魚販売、フリーマーケット、各種バザーなどのテントが並び、買い物を楽しむ多くの家族連れでにぎわいました。

～花園での活躍に期待～
三島高校ラグビー部とラグビーで愛媛選抜に選ばれた中学生が全国大会に出場 11/27(水)



三島高校3年ラグビー部主将大久保誓王君と川之江北中学校3年三好優作君が、全国大会に出場することを市長に報告するため表敬訪問しました。

三島高校ラグビー部は、11月23日に愛媛県総合運動公園で開催された第93回全国高校ラグビー大会愛媛県大会で優勝し、2年連続4度目となる全国大会出場を決めました。

また、中学生の部では、愛媛県選抜メンバーとして市内の中学生10人が中四国予選を勝ち抜き、全国ジュニア・ラグビーフットボール大会の出場を決めました。

～郷土の先哲二洲の遺徳～
尾藤二洲没後二百年祭典

12/2 (月)



城山公園で尾藤二洲没後二百年記念碑除幕式、文化センターで記念式典と記念講演が行われました。これは、寛政の三博士と称された、「尾藤二洲」の功績を後世に継承するために行われました。参加者は、郷土が誇る先哲をしのびながら、顕彰活動の継承に意欲を見せていました。

～県下で2人目～
愛媛マイスターに選出

11/29(金)



中曽根町の白川みゆきさん（フラワーギャラリー 朧 代表）が、県下で2人目となる愛媛マイスター（フラワー装飾）に選ばれ、県からその認定証が授与されました。白川さんは、「これからも花の輪を広げて、後任の育成や花で四季を感じる文化を広げていきたい」と話していました。

～社会福祉事業の一環～
第25回ふれあい餅つき大会

12/3 (火)



みしま児童センターで、伊予三島地域の特別支援学級「第25回ふれあい餅つき大会」が行われました。これは、伊予三島ライオンズクラブが社会福祉事業の一環として、特別支援学級の児童・生徒との心のふれあいを持とうと開催しており、参加した子どもたちは、楽しいひとときを過ごしました。

～声援を力に力走～
第10回市駅伝競走大会

12/1 (日)



浜公園周辺で市駅伝競走大会が行われました。10回目となる今回は、コースを大きく変更して行われ、中学生男・女やPTA男・女など7部門に、92チーム680人が参加しました。ランナーたちは沿道からの温かい声援を受けながら15.6kmの区間を力いっぱい駆け抜け、懸命にたすきをつなぎました。

～世界選手権大会入賞～
スポーツチャンバラ

12/5 (木)



市スポーツチャンバラ協会仁武館代表河村直仁さんと川之江高校3年井川啓貴君、中曽根小学校6年石川大雅君、妻鳥小学校5年岸田紫門君、同小学校5年岸田伊織君が市長を表敬訪問しました。5人は、11月4日、東京都で開催されたスポーツチャンバラ世界選手権大会において、入賞したことを市長に報告しました。

～旧川之江市から続く友好都市～
中国・宣城市から友好訪問団

12/2 (月)



中国・宣城市からの友好訪問団を歓迎する式典がホテルグランフォーレで開催されました。宣城市は中国最古の紙の産地で、同じく紙の産地である旧川之江市の時代から友好都市として交流があり、訪問は毎年行われています。今回は宣城市人民代表大会副主任である程年紅さんを始めとした3人が本市を訪れました。

～みんなの力を合わせて～
第9回四国中央市綱引き大会

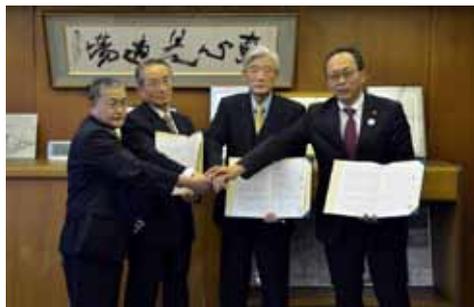
12/15(日)



土居アリーナで、第9回四国中央市綱引き大会（併催四国オープン大会）が行われました。今年は市内大会30チーム、オープン大会6チームの計36チームが参加し、それぞれの栄冠を目指して熱闘を繰り広げました。競技が始まると、掛け声に合わせて一斉に綱を引っ張り合い、体育館は熱気で満たされました。

～手をつなごう地域と企業～
災害に強いまちづくり応援協定

12/12(木)



市役所で、丸住製紙株式会社と井地町自主防災会が「災害に強いまちづくり応援協定」を締結しました。これは、愛媛県東予地方局の「災害に強いまちづくり事業」で、地域と企業が手をつなぎ、地域の防災力を高めようとする取り組みで、災害時などの応援や復旧ボランティア活動、合同防災訓練などが行われます。

～目指すはJリーガー～
サッカーで全国大会出場

12/16(月)



愛媛FCジュニアユースクラブに所属する三島西中学3年三野智也君が市長を表敬訪問しました。三野君は、高円宮杯四国U-15クローバーリーグでフォワードとして活躍し、リーグ優勝を果たし、12月22日から大阪府で開催される高円宮杯第25回全日本ユース(U15)サッカー選手権大会に出場します。

～ラブ・ミー・テンダー具定の恋～
市民ミュージカルが上演

12/14・15



四国中央ふれあい市民劇団による第5回市民ミュージカル『ラブ・ミー・テンダー』～具定の恋～が4回にわたって行われました。今回は、具定展望台が舞台上で、主人公である具定とヒロイン・若子のラブストーリーが描かれ、総勢29人の出演者たちが、色々な問題と向き合う姿を生き生きと描いていました。

朝8時少し前、瀬戸内バスに乗って出勤しようと思つて、川之江保健センター前の道路の横で立っていると、結構車が煩雑はんざつに通り過ぎて行く。
娘が捨てようとした防寒着を着て、見栄えの良くない毛糸の帽子をかぶった格好をしている所せいもあると思うが、…けつたいなおっさん、なにしとるんぞ!?というような目線で見られる。そんな目線を、自分は内心愉たのしんでいるところもある。
金生町山田井方面から、時間通りにバスが来た。予想していたより、はるかに少ない乗客はゼロであった。運転手さんの横に座って、バスからの市内の景色を見ていた。上分のHITO病院前を通り、妻鳥、松柏を経由して市役所まで約20分であった。
路線バスの維持にご苦労いただいている運転手さんに、なにか話しかけようと思ったが、その孤独そうな雰囲気ふんいきに押されてしゃべれなかった。こうした空気にこの人はもう慣れっこになっているのだろう。観光バスのように、多勢の人を乗せて運転するのも大変だと思つたが、こんな路線バスで精神をコントロールする苦労もそれ以上かも知れない。自分だけの見方かもしれないが、あまりにも所せいがない、気の毒に思った。でも、こんな人に支えられて、こうした過疎路線が維持されている。
昔は、よくバスに乗ったもんだと思つている市民のみなさんもたくさんいると思ひますが、たまにはバスに乗つてみてください。なかなかおつなもんですよ！
バスから見える市内の風景は、また、違った感想を湧かしてくれそうです。
みなさん、よろしく、バスをお願いします。

市長の
ひとひざり



四国中央市長
篠原 実

テーマ
路線バス